

第84回全日本大学総合選手権大会(個人の部)が、10月26～29日まで、所沢市民体育館で行われた。
男子シングルスは、森園政崇(明大)と吉村和弘(愛工大)が決勝で対戦し、森園が同大会3回目の優勝を達成した。ダブルスは、フットワークを活かした定松祐輔・宮本幸典(中大)が初優勝。
女子シングルスは、スピーディーな攻撃をみせた安藤みなみ(専大)が優勝。ダブルスも安藤みなみ・枝松亜実(専大)が優勝。安藤が2冠を達成した。

第84回 全日本 Women's



準優勝 奥下茜里(日大)

表ソフトラバーのフォアハンド攻撃で得点を重ね、ラリー戦にも強く、ブロックも安定した



女子シングルス優勝
安藤みなみ(専大)

打点の早い異質ラバーでのバックハンドは得点率が高く、叩きつけるようなフォアハンドも威力があった



第5位 朝田実依(同志社大)

カットの守備範囲は広く、積極的に攻撃を仕掛け、変化をつけた



第4位 田口瑛美子(筑波大)

前陣でのピッチの早い両ハンド攻撃で、相手を苦しめ勝ち上がった



第3位 前瀧初音(東京富士大)

気持ちを出したプレーと、振り切る両ハンド攻撃は威力があった



第8位 石川梨良(青山学院大)

変化のわかりにくいサーブはしっかりコントロールされ、3球目攻撃も効果的に決まった



第7位 谷岡あゆか(日体大)

スピンの効いたカットは重く、相手が繋いできたボールに対しては積極的に攻撃を仕掛けた



第6位 瀬山咲希(中大)

コンパクトなシングで、両ハンド攻撃をコーナーに打ち分けた



第12位 山本玲(中大)



第11位 阿部愛莉(早大)



第10位 美濃口千夏(中大)



第9位 鎌田那美(早大)



第16位 上野大弥(龍谷大) 第15位 徳永美子(早大)



第14位 高橋梓海(日体大)



第13位 打浪優(神戸松蔭女学大)

大学総合選手権大会

個人の部

10月26～29日
所沢市民体育館

Men's



準優勝 吉村和弘(愛工大)

両ハンド攻撃は威力十分。決勝は先行される展開となるが、粘りのプレーで接戦を演じ、王者を苦しめた

男子シングルス優勝
森園政崇(明大)



台上バックハンドドライブは対戦相手にとっては脅威であり、最後まで全力でプレーするスタイルで3回目の優勝を達成



第5位 田添健汰(専大)

ボールタッチが良いフォアハンド主戦のスタイル。優勝した森園に敗れるも、内容は互角であった



第4位 郡山北斗(専大)

プレー領域を選ばず、どんな態勢も強打を繰り出すサウスポー



第3位 三部航平(専大)

ミスが少ない安定したプレースタイルで活躍。ラリー戦にも強さをみせた



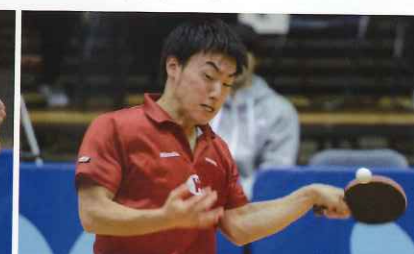
第8位 緒方遼太郎(早大)

バックハンド系の技術に優れ、ラリー戦も優れた



第7位 及川瑞基(専大)

序盤はやや調子が出ず苦しんだ印象であったが、頭を使い勝ち進んだ



第6位 上村慶哉(早大)

インパクトが力強く、相手のコートに鋭い軌道で返す両ハンド攻撃がよかった



第12位 吉田大輔(中大)



第11位 坪井勇磨(筑波大)



第10位 定松祐輔(中大)



第9位 酒井明日翔(明大)



第16位 福田修也(日大)



第15位 渡辺裕介(明大)



第14位 宮本幸典(中大)



第13位 松山祐季(愛工大)

準優勝 森園政崇(左)・渡辺裕介(明大)
威力ある攻撃をコース良く打ち込み得点を重ねた



男子ダブルス優勝 定松祐輔・宮本幸典(中大)
フットワークを活かした連続攻撃が冴え、台上プレーも良かった



第3位 千葉悠平(左)・稲嶋俊介(埼玉大)
千葉のコースを絞らせない攻撃と、稲嶋の威力ある攻撃が噛み合った



第3位 梅崎光明(左)・片岡弘紀(筑波大)
梅崎の台上レシーブや片岡の丁寧なプレーなど、コンビネーションがよかった

準優勝 伊藤佑里子(右)・瀬山咲希(中大)
コンビネーションが良く、素早い動きの連続攻撃が決まっていた



女子ダブルス優勝 安藤みなみ(右)・枝松亜実(専大)
前陣での打点の早い両ハンド攻撃が良く、コース取りもよかった



第3位 森田彩音(右)・秋田佳菜子(中大)
回転のかかったドライブ攻撃と安定したプレースタイルをみせた



第3位 小室聖(右)・奥下茜里(日大)
思い切りが良く、積極的に攻撃を仕掛けた